

奈良県の経済動向分析  
2016年11月

2016年11月21日

有限会社オフィス・ビー

## [1] 分析の概観

### 【消費】

#### ◆奈良県の百貨店・スーパー販売額（P. 3）

奈良県における百貨店・スーパー販売額の前年同月比は浮き沈みをしており、増加あるいは減少の傾向を示すには至らない。ただし、8月・9月と2ヶ月連続で前年同月比が低下しており、今後の動きに注意が必要である。

2016年9月の速報値では、全ての商品の販売額が前年を下回っている。また、商品別にみると、大きな割合を占めている飲食料品の減少は小さいが、家具や衣料品の減少が特に大きくなっている。買回り品について、買い控えの傾向が見られる。

#### ◆奈良県の乗用車販売台数（P. 4）

耐久消費財の代表である乗用車の販売台数を見ると、4月・5月以外の前年同月比が全てマイナスになっている。

2016年度に入ってから、販売台数が持ち直しており、今後の更なる好転が期待される。直近3ヶ月の乗用車販売台数の前年同月比は、小さなマイナスが続いている。8月は軽自動車の前年同月比がプラスになったのに対して、普通車・小型車はマイナスであった。

逆に9月は普通車・小型車の前年同月比がプラスになったのに対して、軽自動車はマイナスであった。いずれも小さな変動であり、消費の傾向を示すには及ばない。

#### ◆奈良市の消費者物価指数（P. 5）

2016年1月から若干の低下傾向を続けてきた消費者物価指数の前年同月比は、2016年9月には更に下がった。

前年同月に比べて特に下落幅が大きいのは、「家具・家事用品」と「光熱・水道」である。

「家具・家事用品」についてはホームセンターや100円ショップの起こした価格破壊の影響が続いており、「光熱・水道」は電気・ガス料金の値下げが影響を及ぼしている。

### 【来訪】

#### ◆奈良県内の宿泊者数（P. 6）

2015年の延べ宿泊者数は、殆どの月が前年に比べて増えていた。

2016年に入り、延べ宿泊者数の前年同月比がマイナス傾向に転じている。

直近のデータを詳しく見ると、延べ宿泊者全体の数は前年同月に比べて減少しているが、外国人宿泊者数は増えており、特に「ビジネスホテル」の伸びが大きい。

## 【生産】

### ◆奈良県の鉱工業生産指数・原指数（P. 7）

2016年8月に続き、9月も前年同月の値を上回った。

9月の前年同月比はプラス4.8%であり、今後の伸びが期待される。

直近の9月には、「金属製品工業」「一般機械工業」「輸送機械工業」「窯業・土石製品工業」「化学工業」「パルプ・紙・紙加工品工業」「その他工業」の値が基準となる2010年を上回っており、特に「窯業・土石製品工業」と「金属製品工業」は前年同月比の伸びが大きい。

## 【民間投資】

### ◆奈良県の住宅着工戸数（P. 8）

最近の住宅着工戸数は多くの月で前年同月を上回ってきたが、2016年7月以降の3ヶ月間は前年並みの状況が続いている。

直近の3ヶ月間においては、特に「貸家」の着工件数が伸びている。逆に「分譲」の着工件数は減少している。

## 【公共投資】

### ◆奈良県の公共事業請負金額（P. 9）

補正予算等に応じて浮き沈みはあるが、昨年を上回る公共事業が実施されてる。

国・県・市町村ともに、2016年7月の公共事業は昨年よりも低くなっているが、8月・9月は昨年を大きく上回っている。

## 【雇用】

### ◆奈良県の求人倍率（P. 10）

有効求人倍率・新規求人倍率(季節調整値)は、ともに緩やかに上昇しており、求職者に優位な状況にある。

直近3ヶ月間の有効求人倍率(原数値)は、地域差が生じているが、いずれも上昇の傾向が見られ、求職者にとっての改善が進んでいる。反面、年々求人が難しくなっており、労働集約型の企業では計画的な採用活動が求められる。

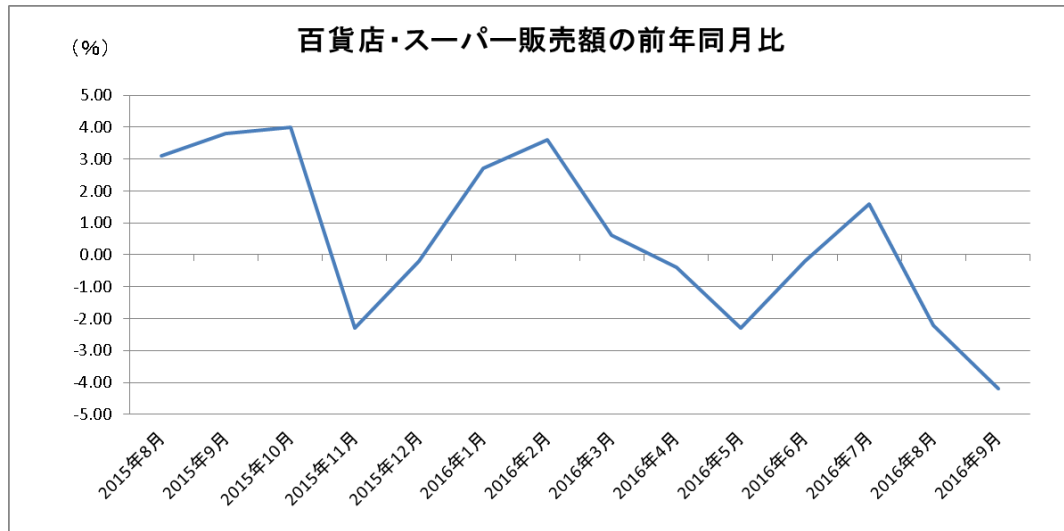
以上

## [2] 具体的な分析内容

### 1. 消費

#### (1) 奈良県の百貨店・スーパー販売額

##### ①前年同月比の推移（9月は速報値）



出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

・奈良県における百貨店・スーパー販売額の前年同月比は浮き沈みをしており、増加あるいは減少の傾向を示すには至らない。ただし、8月・9月と2ヶ月連続で前年同月比が低下しており、今後の動きに注意が必要である。

##### ②直近の状況（9月は速報値）

単位(百万円、%)

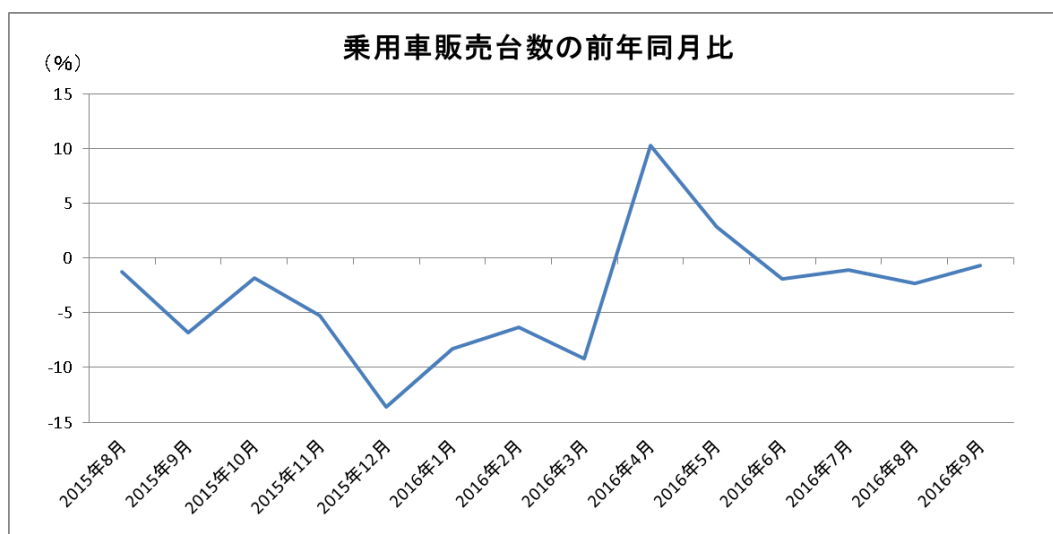
対 象	2016年7月		2016年8月		2016年9月・速報値		
	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比	
合 計	19,767	1.6	18,859	▲ 2.2	17,019	▲ 4.2	
商	衣料品計	2,473	▲ 0.2	1,875	▲ 7.4	1,731	▲ 15.0
	紳士服・洋品	533	3.0	387	▲ 9.0	326	▲ 19.2
	婦人・子供服・洋品	1,644	▲ 0.8	1,243	▲ 7.2	1,182	▲ 13.9
	その他の衣料品	296	▲ 2.0	245	▲ 5.5	223	▲ 14.3
品	身の回り品	712	3.0	587	▲ 0.9	502	▲ 12.7
	飲食料品	12,708	2.7	12,721	▲ 0.8	11,570	▲ 1.0
	家具・家電・家庭用品計	769	▲ 4.4	722	▲ 7.3	664	▲ 6.4
	家具	93	▲ 14.0	82	▲ 16.1	72	▲ 24.1
	家庭用電気機械器具	156	▲ 5.2	134	▲ 14.6	122	▲ 1.8
	家庭用品	520	▲ 2.2	506	▲ 3.5	471	▲ 4.2
	その他の商品	2,972	0.1	2,822	▲ 3.9	2,458	▲ 7.4
別	食堂・喫茶	133	▲ 1.4	132	▲ 6.8	94	▲ 9.8

出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

・2016年9月の速報値では、全ての商品の販売額が前年を下回っている。  
 ・また、商品別にみると、大きな割合を占めている飲食料品の減少は小さいが、家具や衣料品の減少が特に大きくなっている。買回り品について、買い控えの傾向が見られる。

## (2) 奈良県の乗用車販売台数

### ① 前年同月比の推移



出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

・耐久消費財の代表である乗用車の販売台数を見ると、4月・5月以外の前年同月比が全てマイナスになっている。

・2016年度に入ってから、販売台数が持ち直しており、今後の更なる好転が期待される。

### ② 直近の状況

単位(台、%)

対 象	2016年7月		2016年8月		2016年9月	
	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比
合 計	3,570	▲ 1.1	2,947	▲ 2.3	4,111	▲ 0.7
普通車・小型車	2,486	▲ 0.0	1,889	▲ 3.5	2,671	0.0
軽自動車	1,084	▲ 2.5	1,058	6.1	1,440	▲ 1.9

出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

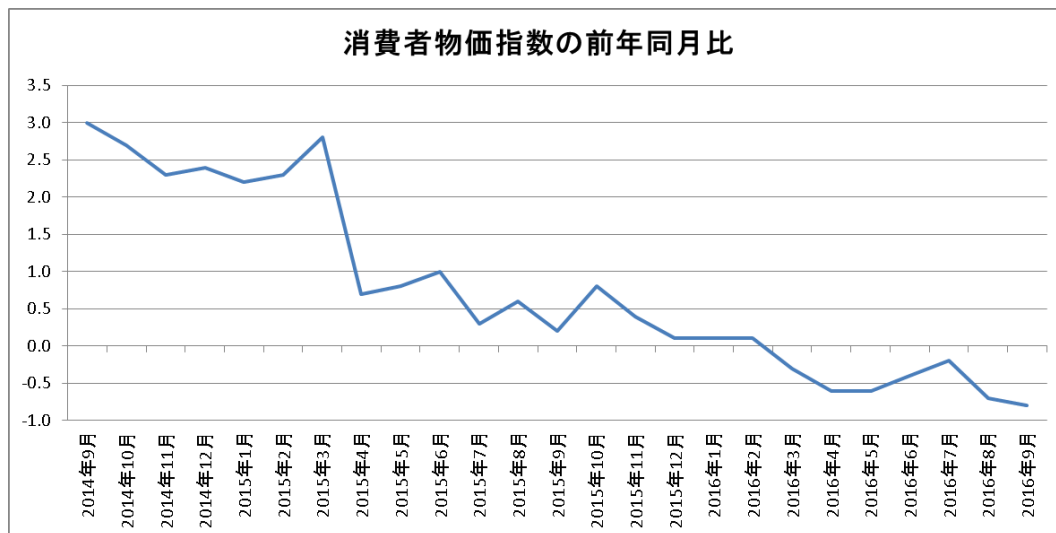
・直近3ヶ月の乗用車販売台数の前年同月比は、小さなマイナスが続いている。

・8月は軽自動車の前年同月比がプラスになったのに対して、普通車・小型車はマイナスであった。

・逆に9月は普通車・小型車の前年同月比がプラスになったのに対して、軽自動車はマイナスであった。いずれも小さな変動であり、消費の傾向を示すには及ばない。

### (3) 奈良市の消費者物価指数

#### ① 前年同月比の推移



出典：奈良県

・2016年1月から若干の低下傾向を続けてきた消費者物価指数の前年同月比は、2016年9月には更に下がった。

#### ② 直近の状況

単位(2015年=100)

区分	平成27年	平成28年	平成28年	前月比 (%)	寄与度	前年同月比
	9月	8月	9月			(%)
総合	100.3	99.7	99.5	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.8
除く生鮮	100.1	99.7	99.3	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.8
生鮮食品	104.4	100.6	104.4	3.8	0.2	0.1
食料	100.9	100.6	101.1	0.5	0.1	0.2
住居	100.1	99.3	99.2	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.9
光熱・水道	97.0	92.8	92.3	▲ 0.5	▲ 0.0	▲ 4.8
家具・家事用品	100.2	95.1	93.6	▲ 1.5	▲ 0.1	▲ 6.5
被服及び履物	102.1	98.4	101.4	3.1	0.1	▲ 0.7
保健医療	100.5	101.5	101.2	▲ 0.4	▲ 0.0	0.6
交通・通信	100.1	98.9	98.1	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 2.0
教育	99.9	102.9	102.9	0.0	0.0	3.0
教養娯楽	100.8	103.6	101.8	▲ 1.8	▲ 0.2	1.0
諸雑費	100.1	100.5	100.2	▲ 0.3	▲ 0.0	0.1

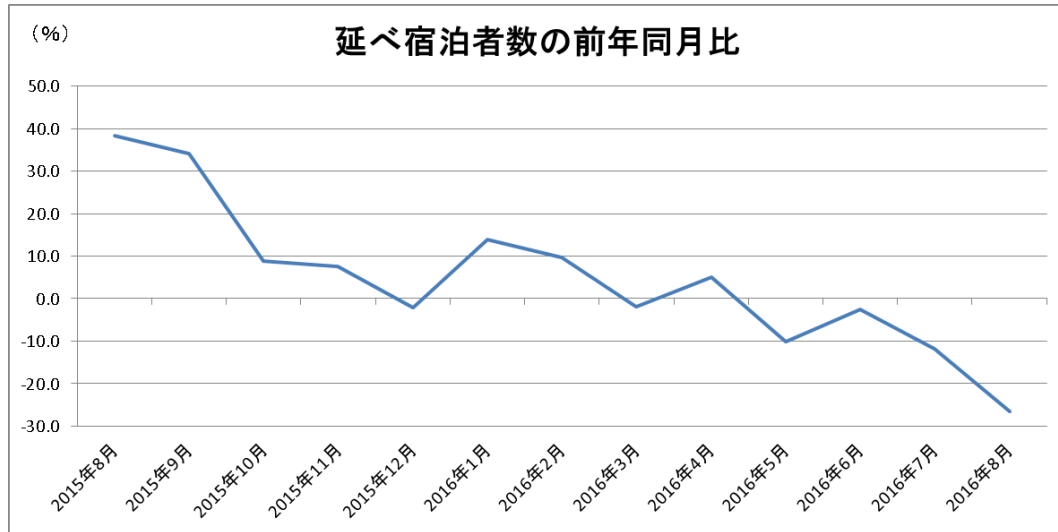
出典：奈良県

・前年同月に比べて特に下落幅が大きいのは、「家具・家事用品」と「光熱・水道」である。  
 ・「家具・家事用品」についてはホームセンターや100円ショップの起こした価格破壊の影響が続いており、「光熱・水道」は電気・ガス料金の値下げが影響を及ぼしている。

## 2. 来訪

### ◆奈良県内の宿泊者数

#### ①前年同月比の推移



出典:国土交通省 宿泊旅行統計調査

- ・2015年の延べ宿泊者数は、殆どの月が前年に比べて増えていた。
- ・2016年に入り、延べ宿泊者数の前年同月比がマイナス傾向に転じている。

#### ②直近の状況

単位(人、%)

対 象	2016年6月		2016年7月		2016年8月	
	人数	前年同月比	人数	前年同月比	人数	前年同月比
延べ宿泊者数	183,980	▲ 2.53	212,960	▲ 11.72	275,000	▲ 26.61
宿泊施設タイプ						
旅館	55,750	▲ 17.37	54,010	▲ 18.02	77,470	▲ 32.57
リゾートホテル	18,870	▲ 20.58	16,030	▲ 35.85	23,370	2.23
ビジネスホテル	39,540	▲ 4.77	44,680	▲ 28.51	45,100	▲ 15.84
シティホテル	35,880	▲ 8.86	34,280	▲ 22.04	42,120	4.80
簡易宿所	33,560	▲ 14.63	62,640	▲ 7.71	84,780	▲ 24.65
会社・団体の宿泊所	370	-	1,320	-	2,160	-
うち外国人延べ宿泊者数	26,810	21.92	37,030	17.93	34,060	9.80
宿泊施設タイプ						
旅館	2,150	▲ 28.09	4,820	39.31	4,920	▲ 10.87
リゾートホテル	4,380	▲ 28.55	4,560	▲ 30.80	5,510	21.37
ビジネスホテル	8,440	54.01	10,940	1.58	9,360	45.34
シティホテル	10,200	▲ 8.60	13,250	▲ 13.96	12,000	2.13
簡易宿所	1,470	145.00	3,470	257.73	2,010	▲ 1.95
会社・団体の宿泊所	170	-	0	-	270	-

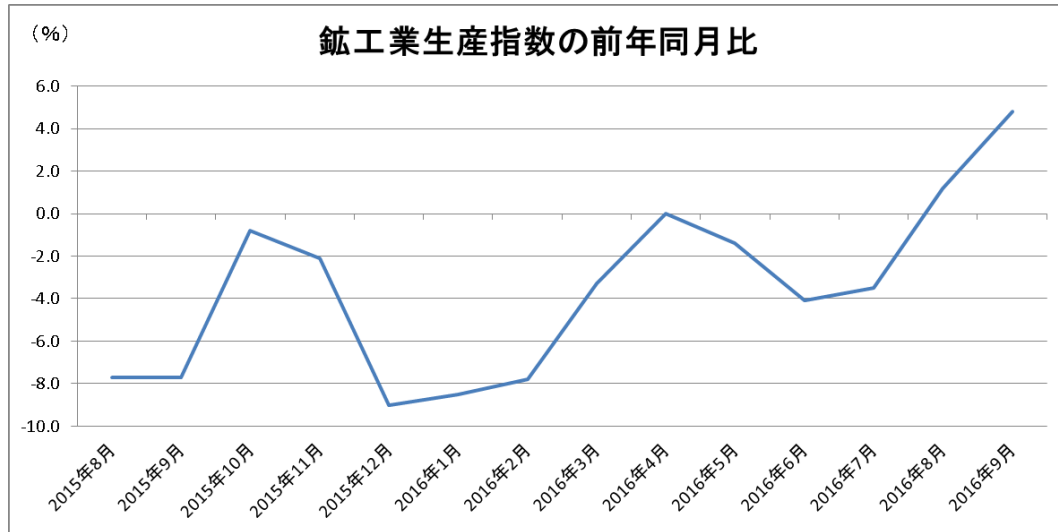
出典:国土交通省 宿泊旅行統計調査

- ・直近のデータを詳しく見ると、延べ宿泊者全体の数は前年同月に比べて減少しているが、外国人宿泊者数は増えており、特に「ビジネスホテル」の伸びが大きい。

### 3. 生産

#### ◆奈良県の鉱工業生産指数（原指数）

##### ①前年同月比の推移



出典:国土交通省 宿泊旅行統計調査

- ・2016年8月に続き、9月も前年同月の値を上回った。
- ・9月の前年同月比はプラス4.8%であり、今後の伸びが期待される。

##### ②直近の状況

単位(2010年=100、%)

対象	2016年7月		2016年8月		2016年9月	
	指数	前年同月比	指数	前年同月比	指数	前年同月比
合計	89.7	▲ 3.5	86.7	1.0	95.7	4.8
鉄鋼業	85.9	▲ 3.6	85.7	8.3	83.4	▲ 0.2
非鉄金属工業	83.6	▲ 3.2	76.8	5.9	81.2	▲ 1.6
金属製品工業	91.4	▲ 34.9	90.9	▲ 49.0	104.3	30.0
一般機械工業	98.3	▲ 6.8	100.1	15.9	105.1	▲ 3.8
電気機械工業	39.2	38.0	38.9	▲ 3.2	46.5	27.4
輸送機械工業	108.2	▲ 9.2	91.8	2.3	110.4	▲ 6.6
窯業・土石製品工業	96.9	17.3	96.2	59.5	115.2	46.4
化学工業	117.4	▲ 1.3	111.0	10.1	121.0	▲ 6.6
プラスチック製品工業	88.5	0.9	78.5	1.7	88.1	▲ 6.6
パルプ・紙・紙加工品工業	121.2	▲ 2.4	113.0	14.5	125.7	8.2
繊維工業	82.3	5.1	79.4	5.9	83.1	4.8
食料品・たばこ工業	86.8	▲ 4.1	90.7	6.5	97.9	7.7
その他工業	109.1	3.6	103.5	4.8	114.3	15.0

出典:国土交通省 宿泊旅行統計調査

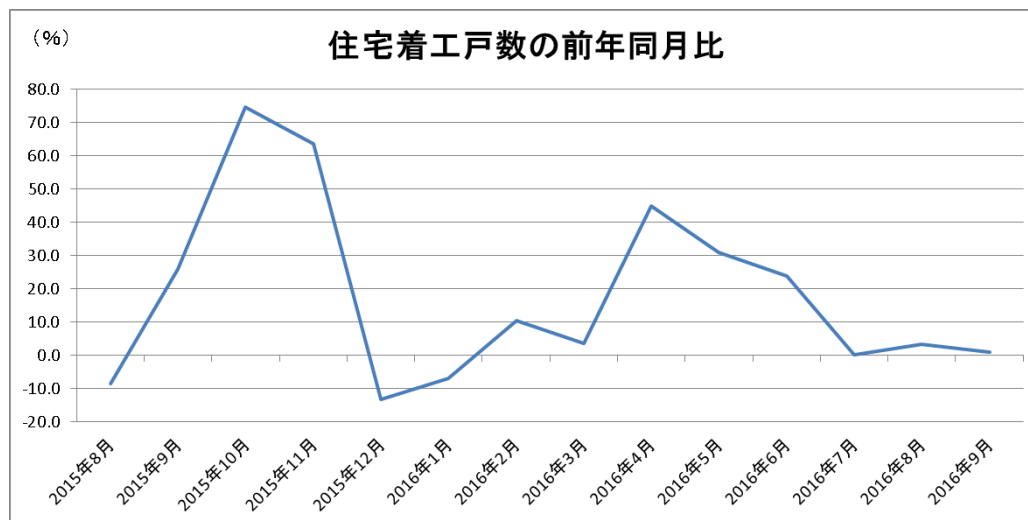
- ・直近の9月には、「金属製品工業」「一般機械工業」「輸送機械工業」「窯業・土石製品工業」「化学工業」「パルプ・紙・紙加工品工業」「その他工業」の値が基準となる2010年を上回っており、特に「窯業・土石製品工業」と「金属製品工業」は前年同月比の伸びが大きい。



## 4. 民間投資

### ◆奈良県の住宅着工戸数

#### ①前年同月比の推移



出典:国土交通省 着工新設住宅戸数

・最近の住宅着工戸数は多くの月で前年同月を上回ってきたが、2016年7月以降の3ヶ月間は前年並みの状況が続いている。

#### ②直近の状況

単位(戸、%)

対 象	2016年7月		2016年8月		2016年9月	
	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比
合 計	540	0.0	555	3.2	627	0.8
持ち家	244	5.6	222	▲ 5.5	266	8.1
貸家	162	74.2	207	30.2	217	47.6
分譲	134	▲ 37.7	124	▲ 13.3	144	▲ 37.1

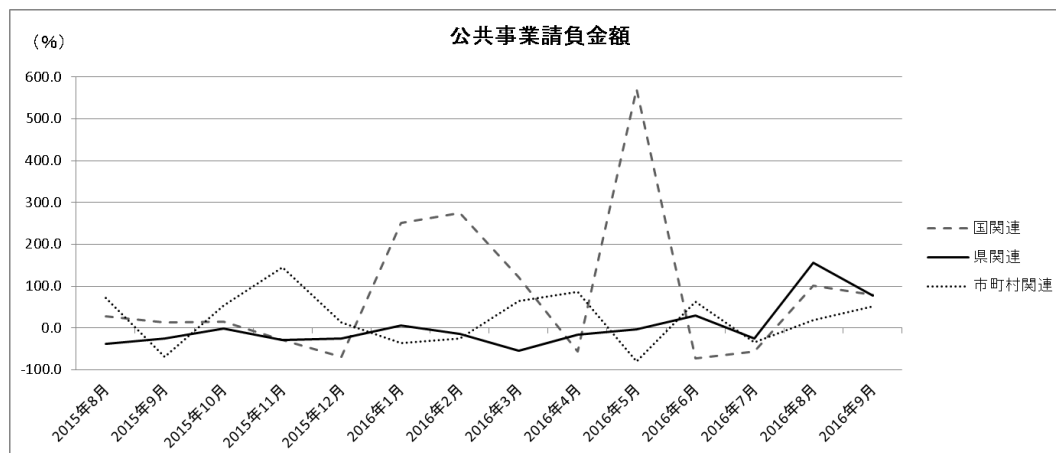
出典:国土交通省 着工新設住宅戸数

・直近の3ヶ月間においては、特に「貸家」の着工件数が伸びている。  
 ・逆に「分譲」の着工件数は減少している。

## 5. 公共投資

### ◆奈良県の公共事業請負金額

#### ①前年同月比の推移



出典：奈良県

・補正予算等に応じて浮き沈みはあるが、昨年を上回る公共事業が実施されてる。

#### ②直近の状況

単位(百万円、%)

対 象	2016年7月		2016年8月		2016年9月	
	金額	前年同月比	金額	前年同月比	金額	前年同月比
国関連 公共工事請負金額	1,113	▲ 55.5	1,901	100.6	2,513	79.0
県公共事業等事業 施行契約済額	3,253	▲ 24.4	5,480	155.0	6,398	76.8
市町村関連 公共工事請負金額	3,163	▲ 33.5	2,777	19.4	5,314	51.3

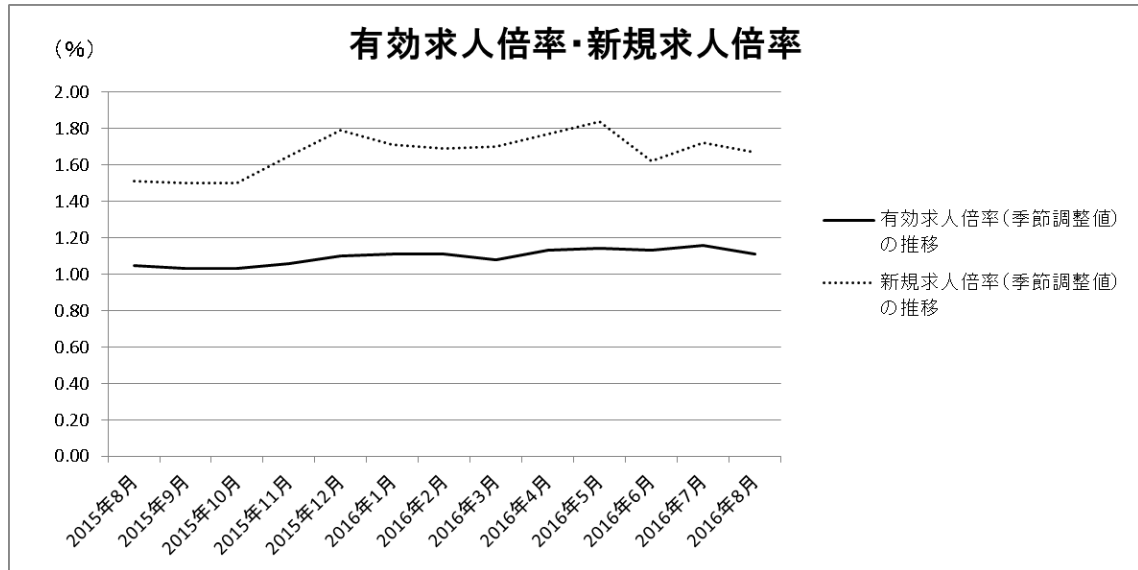
出典：奈良県

・国・県・市町村ともに、2016年7月の公共事業は昨年よりも低くなっているが、8月・9月は昨年を大きく上回っている。

## 6. 雇用

### ◆奈良県の求人倍率

#### ①求人倍率(季節調整値)の推移



出典:厚生労働省 一般職業紹介状況

- ・有効求人倍率・新規求人倍率(季節調整値)は、ともに緩やかに上昇しており、求職者に優位な状況にある。

#### ②直近の状況

単位(比率)

対 象	2016年7月		2016年8月		2016年9月	
	倍率	前年同月比	倍率	前年同月比	倍率	前年同月比
奈良県全体	1.12	0.14	1.11	0.08	1.14	0.10
ハローワーク奈良	1.22	0.15	1.20	0.06	1.23	0.12
ハローワーク大和高田	0.97	0.13	0.97	0.09	1.00	0.08
ハローワーク桜井	1.00	0.02	1.04	0.00	1.06	0.02
ハローワーク下市	1.41	0.18	1.46	0.13	1.64	0.20
ハローワーク大和郡山	1.20	0.27	1.15	0.19	1.11	0.14

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況

- ・直近3ヶ月間の有効求人倍率(原数値)は、地域差が生じているが、いずれも上昇の傾向が見られ、求職者にとっての改善が進んでいる。
- ・反面、年々求人が難しくなっており、労働集約型の企業では計画的な採用活動が求められる。